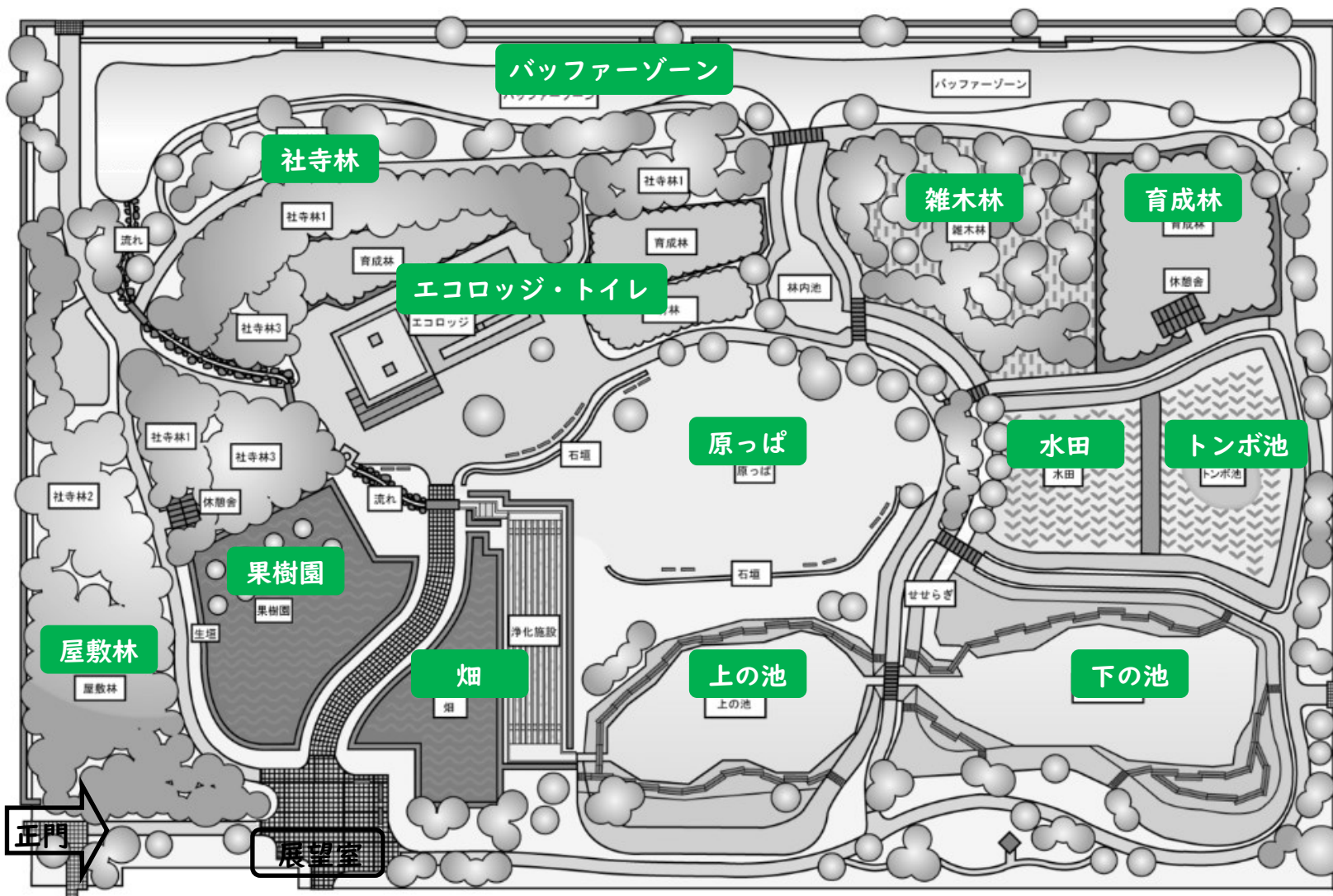


生態園マップ～2021早春編～

- 季節のできごと
- ・冬の間、冷たい北風に耐えてきた木々も、暖かな春の日差しを受け、芽吹き始めました。
 - ・早春の草花も咲き始めました。
 - ・ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、コゲラ、ウグイスなど、鳥の可愛らしいさえずりが、生態園に春が訪れたことを告げています。



ヤマザクラ



果樹園にある当センター開館の記念樹「ヤマザクラ」。日本に自生するサクラの代表格です。3～4月頃、開花とほぼ同時に赤みを帯びた若葉を開くのが特徴です。花は白色が基本ですが、薄緑色や薄桃色もあります。ヤマザクラは野生種で、個体変異が多く、花の咲く時期や色合いなど木ごとに個性が見られます。一方、ソメイヨシノは栽培品種のクローンであることから地域ごとにほぼ同時に花を咲かせます。



CESSチャンネル (Youtube)

生態園についても配信

春を告げる鳥

はるつげどり
「春告鳥」は、ウグイスの別の名です。生態園にはウグイスをはじめ、メジロ、ツバメ、ヒバリなどいろいろな種類の「春を告げる鳥」が遊びに来ています。

ウグイス（鶯）

とても警戒心が強くめったに人前に姿を現すことがないウグイス。鶯色の由来である灰色がかった渋いグリーン色をした昆虫を食べる15cmくらいの野鳥です。低い藪の中で「ジャツ、ジャツ（地鳴き）」と地味に鳴いています。春を告げる「ホーホケキョ」のさえずりは、雄だけの高鳴きで縄張り宣言と考えられています。



メジロ

黄緑色した体、目の周りにアイリングと呼ばれる白い輪（メジロの和名の由来）をもつ、スズメより小さい野鳥です。甘いものが大好き、梅や桃などの花蜜や果実を食べます。警戒心は薄く、エサ（花蜜）があれば人前も平気。梅にウグイス（意味：取り合わせの良いもの）、実際に梅にとまっているのは花蜜大好きなメジロです。

果樹園

自然の生物多様性を育む上で、果樹園も大切な場所です。チョウなどの幼虫の食草でもあります。

ウメ

日本的な趣をもつウメですが、奈良時代に大陸から入ってきた中国原産の落葉小高木です。生態園の果樹園で一番に花開き、春の訪れを感じさせてくれます。



モモ

ウメと同じく、中国原産の落葉小高木で、葉の展開前の3月に開花します。花は直径2.5cm～3.5cmで、芳香があります。生態園のモモは鮮やかな濃いピンク色で、果樹園の中でもとても目を引く存在です。



ナツダイダイ(通称ナツミカン)

柑橘類はアゲハチョウの幼虫の食草になります。生態園には大きなナツミカンが実っていますが、とても酸っぱく鳥も食べません。初夏までに酸が抜け、食べ頃になります。

